

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

デーヴォ ガイド



2021.4.19-25

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

7:1 主はモーセに仰せられた。「見よ。わたしはあなたをパロに対して神とし、あなたの兄アロンはあなたの預言者となる。

7:2 あなたはわたしの命じることを、みな、告げなければならない。あなたの兄アロンはパロに、イスラエル人をその国から出て行かせるようにと告げなければならない。

7:3 わたしはパロの心をかたくなにし、わたしのしるしと不思議をエジプトの地で多く行なおう。

7:4 パロがあなたがたの言うことを聞き入れないなら、わたしは、手をエジプトの上に置き、大きなさばきによって、わたしの集団、わたしの民イスラエル人をエジプトの地から連れ出す。

7:5 わたしが手をエジプトの上に伸ばし、イスラエル人を彼らの真中から連れ出すとき、エジプトはわたしが主であることを知るようになる。」

7:6 そこでモーセとアロンはそうした。主が彼らに命じられたとおりにした。

7:7 彼らがパロに語ったとき、モーセは八十歳、アロンは八十三歳であった。

7:8 また主はモーセとアロンに仰せられた。

7:9 「パロがあなたがたに、『おまえたちの不思議を行なえ。』と言うとき、あなたはアロンに、『その杖を取って、パロの前に投げよ。』と言わなければならない。それは蛇になる。」

7:10 モーセとアロンはパロのところに行き、主が命じられたとおりに行なった。アロンが自分の杖をパロとその家臣たちの前に投げたとき、それは蛇になった。

7:11 そこで、パロも知恵のある者と呪術者を呼び寄せた。これらのエジプトの呪法師たちもまた彼らの秘術を使って、同じことをした。

7:12 彼らがめいめい自分の杖を投げると、それが蛇になった。しかしアロンの杖は彼らの杖をのみこんだ。

7:13 それでもパロの心はかたくなになり、彼らの言うことを聞き入れなかった。主が仰せられたとおりにである。

このようにパロ王はかたくなになり、イスラエルを行かせませんでした。そればかりか、もっと過酷な状況にしまったのです。神様に従ったのになぜかと、モーセは悩んだことでしょう。それはひとつには、イスラエルがエジプトから脱出したいという思いを強めるためだったのではないかとされます。また、パロが自分で滅びの道に行き、イスラエルに手出しができなくなるためでもあったでしょう。結果的に、イスラエルは決定的にエジプトから去ったのです。

このように、信じて従ったのになぜ裏目に出るのかと思われるようなことも起こります。それは私たちが神様から愛されていないのではなく、神様の最善をなすためであると知りましょう。

蛇はエジプト人にとっては崇拜の対象でした。その蛇が神のみわざによって飲み込まれたのです。ここに不思議の意味があります。単に不思議だからというので、価値があるのではなく、本当の神を表すところに価値があるのです。神を表しましょう。また不思議に惑わされることなく、神の栄光を尊びましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



7:14 主はモーセに仰せられた。「パロの心は強情で、民を行かせることを拒んでいる。
7:15 あなたは朝、パロのところへ行け。見よ。彼は水のところに出て来る。あなたはナイルの岸に立って彼を迎えよ。そして、蛇に変わったあの杖を手にとって、
7:16 彼に言わなければならない。ヘブル人の神、主が私をあなたに遣わして仰せられます。『わたしの民を行かせ、彼らに、荒野でわたしに仕えさせよ。』ああ、しかし、あなたは今までお聞きになりませんでした。
7:17 主はこう仰せられます。『あなたは、次のことよって、わたしが主であることを知るようになる。』ご覧ください。私は手に持っている杖でナイルの水を打ちます。水は血に変わり、
7:18 ナイルの魚は死に、ナイルは臭くなり、エジプト人はナイルの水をもう飲むことを忌みきらうようになります。』
7:19 主はまたモーセに仰せられた。「あなたはアロンに言え。あなたの杖を取り、手をエジプトの水の上、その川、流れ、池、その他すべて水の集まっている所の上に差し伸ばしなさい。そうすれば、それは血となる。また、エジプト全土にわたって、木の器や石の器にも、血があるようになる。』
7:20 モーセとアロンは主が命じられたとおりに行なった。彼はパロとその家臣の目の前で杖を上げ、ナイルの水を打った。すると、ナイルの水はことごとく血に変わった。
7:21 ナイルの魚は死に、ナイルは臭くなり、エジプト人はナイルの水を飲むことができなくなった。エジプト全土にわたって血があっ

た。
7:22 しかしエジプトの呪法師たちも彼らの秘術を使って同じことをした。それで、パロの心はかたくなになり、彼らの言うことを聞こうとはしなかった。主の言われたとおりである。
7:23 パロは手を返して自分の家にはいり、これに心を留めなかった。
7:24 全エジプトは飲み水を求めて、ナイルのあたりを掘った。彼らはナイルの水を飲むことができなかったからである。
7:25 主がナイルを打たれてから七日が満ちた。

ここからエジプトにもたらされた災いが続きます。ナイルが血に変わったのは、エジプトの産業にとって大打撃でした。そしてそれは、かつてイスラエルの男の子をナイルに投げ入れて殺すように命じた、パロの命令を思い起こさせます。神様は愛する者たちが受けた苦しみを忘れたいはなさらないのです。その点でエジプトに災いを与え、ご自信の愛を表しておられます。パロはかたくなでしたが、そのパロを支配なさる神様は愛の神です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



21日 水曜

出エジプト

8:1 主はモーセに仰せられた。「パロのものに行ってください。主はこう仰せられます。『わたしの民を行かせ、彼らにわたしに仕えさせるようにせよ。』」

8:2 もし、あなたが行かせることを拒むなら、見よ、わたしは、あなたの全領土を、かえるをもって、打つ。

8:3 かえるがナイルに群がり、上って来て、あなたの家にはいる。あなたの寝室に、あなたの寝台に、あなたの家臣の家に、あなたの民の中に、あなたのかまどに、あなたのごね鉢に、はいる。

8:4 こうしてかえるは、あなたとあなたの民とあなたのすべての家臣の上に、はい上がる。』」

8:5 主はモーセに仰せられた。「アロンに言え。あなたの手を杖を持ち、川の上、流れの上、池の上に差し伸ばし、かえるをエジプトの地に、はい上がらせなさい。」

8:6 アロンが手をエジプトの水の上に差し伸ばすと、かえるはい上がって、エジプトの地をおおった。

8:7 呪法師たちも彼らの秘術を使って、同じようにかえるをエジプトの地の上に、はい上がらせた。

8:8 パロはモーセとアロンを呼び寄せて言った。「かえるを私と私の民のところから除くように、主に祈れ。そうすれば、私はこの民を行かせる。彼らは主にいけにえをささげることができる。」

8:9 モーセはパロに言った。「かえるがあなたとあなたの家から断ち切られ、ナイルにだけ残るように、あなたと、あなたの家臣と、



あなたの民のために、私がいつ祈ったらよいのか、どうぞ言いつけてください。」

8:10 パロが「あす。」と言ったので、モーセは言った。「あなたのことばどおりになりますように。私たちの神、主のような方はほかにいないことを、あなたが知るためです。」

8:11 かえるは、あなたとあなたの家とあなたの家臣と、あなたの民から離れて、ナイルにだけ残りましょう。」

8:12 こうしてモーセとアロンはパロのところから出て来た。モーセは、自分がパロに約束したかえるのことについて、主に叫んだ。

8:13 主はモーセのことばどおりにされたので、かえるは家と庭と畑から死に絶えた。

8:14 人々はそれらを山また山と積み上げたので、地は臭くなった。

8:15 ところが、パロは息つく暇のできたのを見て、強情になり、彼らの言うことを聞き入れなかった。主の言われたとおりである。

エジプト人はかえるの繁殖力旺盛なところから、それを豊穡のシンボルとし、さらには神格化しました。彼らがお守りのように願を付けていたかえるが、実は害になるものであると明らかになりました。本当の豊穡は、気候をも司る神様にあるのです。

現代でも人々が願掛けに用いるようなものに、害があることが多いので気をつけましょう。本当の豊かさは神様から与えられるということを覚え、その確信が揺らぐことのないようにしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



22日 木曜

出エジプト



8:16 主はモーセに仰せられた。「アロンに言え。あなたの杖を差し伸ばして、地のちりを打て。そうすれば、それはエジプトの全土で、ぶよとなる。」

8:17 そこで彼らはそのように行なった。アロンは手を差し伸ばして、杖で地のちりを打った。すると、ぶよは人や獣についた。地のちりはみな、エジプト全土で、ぶよとなった。

8:18 呪法師たちもぶよを出そうと、彼らの秘術を使って同じようにしたが、できなかった。ぶよは人や獣についた。

8:19 そこで、呪法師たちはパロに、「これは神の指です。」と言った。しかしパロの心はかたくなになり、彼らの言うことを聞き入れなかった。主の言われたとおりでである。

8:20 主はモーセに仰せられた。「あしたの朝早く、パロの前に出よ。見よ。彼は水のところに出来来る。彼にこう言え。主はこう仰せられます。『わたしの民を行かせ、彼らをわたしに仕えさせよ。』

8:21 もしもあなたがわたしの民を行かせないなら、さあ、わたしは、あぶの群れを、あなたとあなたの家臣とあなたの民の中に、またあなたの家の中に放つ。エジプトの家々も、彼らがいる土地も、あぶの群れで満ちる。

8:22 わたしはその日、わたしの民がとどまっているゴシェンの地を特別に扱い、そこには、あぶの群れがないようにする。それは主であるわたしが、その地の真中にいることを、あなたが知るためである。

8:23 わたしは、わたしの民とあなたの民との間を区別して、救いを置く。あす、このしるしが起こる。』」

8:24 主がそのようにされたので、おびただしいあぶの群れが、パロの家とその家臣の家とにはいつて来た。エジプトの全土にわたり、地はあぶの群れによって荒れ果てた。

ぶよは小さな虫ですが、刺されると痛くまた痒く、非常に厄介なものです。地のちりがぶよになるのだとすると、その数はおびただしいもので、おそらくエジプトの社会生活が成り立たなくほどのものだったと思われます。

豊穡の源である「地」からわきあがったことを思うと、エジプト人にとっては皮肉な出来事です。神をあがめないなら、豊かさを期待するものが厄難に変わるです。

呪法師たちはまたもトリックで、同じことをしようとしたが、そのような小さものは仕込むことができなかったのでしょうか。不可能でした。ここで彼らは、モーセに表された力を恐れて、「神の指」と表現しましたが、パロはかたくなままでした。

そこで今度はあぶが満ちました。これは他にも訳が可能で、おそらくはエジプトが崇めていた、ある主の虫とも考えられます。これは生殖と繁殖のシンボルで、豊かさのために崇められていたものです。そのようなものも神に敵対するなら、「荒れ果て」るための厄難になるのです。

豊かさのために世人が崇めているものに惑わされることなく、本当の神様を信じて従いましょう。偶像のむなしさと害とを見抜いて、正しい判断をしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



民を行かせなかった。

8:25 パロはモーセとアロンを呼び寄せて言った。「さあ、この国内でおまえたちの神にいけにえをささげよ。」

8:26 モーセは答えた。「そうすることは、とてもできません。なぜなら私たちは、私たちの神、主に、エジプト人の忌みきらいのものを、いけにえとしてささげるからです。もし私たちがエジプト人の目の前で、その忌みきらいのものを、いけにえとしてささげるなら、彼らは私たちを石で打ち殺しはしないでしょうか。」

8:27 それで私たちは荒野に三日の道のりの旅をして、私たちの神、主にいけにえをささげなければなりません。これは、主が私たちにお命じになることです。」

8:28 パロは言った。「私は、おまえたちを行かせよう。おまえたちは荒野でおまえたちの神、主にいけにえをささげるがよい。ただ、決して遠くへ行ってはならない。私のために祈ってくれ。」

8:29 モーセは言った。「それでは、私はあなたのところから出て行きます。私は主に祈ります。あす、あぶが、パロとその家臣とその民から離れます。ただ、パロは、重ねて欺かないようにしてください。民が主にいけにえをささげに行けないようにしないでください。」

8:30 モーセはパロのところから出て行って主に祈った。

8:31 主はモーセの願ったとおりにされたので、あぶはパロとその家臣およびその民から離れた。一匹も残らなかった。

8:32 しかし、パロはこのときも強情になり、

パロはイスラエルに「この国内でおまえたちの神にいけにえをささげよ。」と命じました。この世の権力は自分の範疇にとどめておくことを画策します。またクリスチャンに対しても、信仰がいまいなところで妥協させようとしています。

しかし、救いと滅びに中間点はなく、信仰と不信仰には接点がありません。私たちは明確な信仰を持って、国籍が天にあることを示す必要があります。そうでないとやがて、滅び行くこの世や、神のようにふるまう権力に吸収されてしまうからです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



9:1 主はモーセに仰せられた。「パロのところに言って、彼に言え。へブル人の神、主はこう仰せられます。『わたしの民を行かせて、彼らをわたしに仕えさせよ。』」

9:2 もしあなたが、行かせることを拒み、なおも彼らをとどめておいたら、

9:3 見よ、主の手は、野にいるあなたの家畜、馬、ろば、らくだ、牛、羊の上に下り、非常に激しい疫病が起こる。

9:4 しかし主は、イスラエルの家畜とエジプトの家畜とを区別する。それでイスラエル人の家畜は一頭も死なない。』」

9:5 また、主は時を定めて、仰せられた。

「あす、主はこの国でこのことを行なう。」

9:6 主は翌日このことをされたので、エジプトの家畜はことごとく死に、イスラエル人の家畜は一頭も死ななかった。

9:7 パロは使いをやった。すると、イスラエル人の家畜は一頭も死んでいなかった。それでも、パロの心は強情で、民を行かせなかった。

9:8 主はモーセとアロンに仰せられた。「あなたがたは、かまどのすすを両手いっぱいに取り、モーセはパロの前で、それを天に向けてまき散らせ。

9:9 それがエジプト全土にわたって、細かいほこりとなると、エジプト全土の人と獣につき、うみの出る腫物となる。」

9:10 それで彼らはかまどのすすを取ってパロの前に立ち、モーセはそれを天に向けてまき散らした。すると、それは人と獣につき、うみの出る腫物となった。

9:11 呪法師たちは、腫物のためにモーセの前

に立つことができなかった。腫物が呪法師たちとすべてのエジプト人にできたからである。

9:12 しかし、主はパロの心をかたくなにされ、彼はふたりの言うことを聞き入れなかった。主がモーセに言われたとおりでである。

パロがかたくなになったことで、神様は次に家畜に打撃を与えました。家畜は豊かさの象徴であり、その豊かさはエジプトの偶像礼拝のゆえと思われていましたから、これは豊穡を与えるエジプトの神への打撃ともなりました。

ただしここでイスラエルの家畜には無害でしたので、これが神様の御手によるものであると、パロには分かったはずですが、それでも「強情」であったのは、信じない者の心を表しています。不信仰には根拠はなく、ただ神に対して強情であるのです。私たちは自分自身がそうならないようにしましょう。

かまどのすすは、レンガを焼くかまどのものと考えられます。イスラエルと苦しめたレンガ作りのものが、今度はエジプトを苦しめるのです。ここでも愛する民の苦しみを忘れない、神の愛が明らかにされています。またはこのすすはエジプトの宗教行事に関するものとも考えられます。テホンという神にこのすすが捧げられたのです。

神様は人間が造った偶像がいかにむなししいものかを、明らかにされます。神に頼り、偶像など人間が造ったものを崇める行為から決別しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



9:13 主はモーセに仰せられた。「あしたの朝早く、パロの前に立ち、彼らに言え。ヘブル人の神、主はこう仰せられます。『わたしの民を行かせ、彼らをわたしに仕えさせよ。』
9:14 今度は、わたしは、あなたとあなたの家臣とあなたの民とに、わたしのすべての災害を送る。わたしのような者は地のどこにもいないことを、あなたに知らせるためである。
9:15 わたしが今、手を伸ばして、あなたとあなたの民を疫病で打つなら、あなたは地から消し去られる。
9:16 それにもかかわらず、わたしは、わたしの力をあなたに示すためにあなたを立てておく。また、わたしの名を全地に告げ知らせるためである。
9:17 あなたはまだわたしの民に対して高ぶっており、彼らを行かせようとする。
9:18 さあ、今度は、あすの今ごろ、エジプトにおいて建国の日以来、今までになかったきわめて激しい雹をわたしは降らせる。
9:19 それゆえ、今すぐ使いをやり、あなたの家畜、あなたが持っている野にあるすべてのものを避難させよ。野にいて家へ連れ戻すことのできない人や獣はみな雹が落ちて来ると死んでしまう。』
9:20 パロの家臣のうちで主のことばを恐れた者は、しもべたちと家畜を家に避難させた。
9:21 しかし、主のことばを心に留めなかった者は、しもべたちや家畜をそのまま野に残した。
9:22 そこで主はモーセに仰せられた。「あなたの手を天に向けて差し伸ばせ。そうすれば、エジプト全土にわたって、人、獣、またエジ

プトの地のすべての野の草の上に雹が降る。』

9:23 モーセが杖を天に向けて差し伸ばすと、主は雷と雹を送り、火が地に向かって走った。主はエジプトの国に雹を降らせた。

9:24 雹が降り、雹のただ中を火がひらめき渡った。建国以来エジプトの国中どこにもそのようなことのなかった、きわめて激しいものであった。

9:25 雹はエジプト全土にわたって、人をはじめ獣に至るまで、野にいるすべてのものを打ち、また野の草をみな打った。野の木もことごとく打ち砕いた。

9:26 ただ、イスラエル人が住むゴシェンの地には、雹は降らなかった。

パロがまたかたくなになったので、神様は恐ろしい雹を降らせました。この後、パロが自分を改めたのですが、その後また心を翻しました。このような雹でも、人は根底から変わることができません。パロの改心は心からではなく、ただ恐ろしかったからです。ですからその恐ろしさが去ると、また元に戻ってしまったのです。

この雹もイスラエル人の住むところには降りませんでした。神様の守りが、神の民にはあることを知りましょう。神様は何でも自分の願いどおりのことをして下さるというわけではありませんが、しかし愛の神様ですから、私たちを常に守ってくださるのです。信頼し、その信頼を表しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

